

教育センター学びの丘長期研修員研修の概要について

上富田町立朝来小学校
教諭 朝井久喜

和歌山県教育センター学びの丘における長期研修員研修は、教育に関する専門的・技術的事項について研修し、教職員としての資質能力を高めるとともに、今日的教育課題解決のための研修・研究を行い、その成果を本県教育の充実に生かすことを目的とし、実施されている。言うまでもなく、教員は絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。研究とは「物事を詳しく調べたり、深く考えたりして、事実や真理を明らかにすること」、修養とは「知識を高め品性を磨き、自己の人格形成につとめること」(『大辞泉第2版』2012, 小学館)とある。

今回、長期研修員研修を「自己の専門性をより向上させるための研究と、教員としての資質を広く高める修養の機会(下図参照)」として捉え、1年間研鑽を積むこととなった。研修期間中は、センター等が実施する多岐にわたる研修講座や指導主事等による「研修員研修」の受講、所属校における学校課題解決のための校内研修への参加等をとおして、幅広く教員としての資質能力の向上を目指してきた。

研修を積み、多くの指導方法や技術を学び直すことが、自己の専門性を高めるとともに、これまでの実践を振り返る機会となった。県内各地域から集まった研修員と今日的な教育課題について語り合い課題解決を図ることで、新たな考えや気づきを得ることができた。また、様々な研修において協議・演習を重ねることで、教員としての資質を高められたと考えている。

研究では、若手教員の授業力向上を目指して、所属校においてメンターチームを編成し、国語科の授業づくりに関する校内研修を行った。若手教員に対して校内研修を行うことで、筆者自身も授業づくりを見直す機会となった。また、多くのメンターで若手教員に支援を行ったことで、若手教員の授業力向上とともに、教員間のつながりも深まったと感じている。

今後は、子供たちの成長のために、そして、学校組織におけるミドルリーダーとして、若手教員とメンターとをつなぐ役割を担っていきたいと感じている。また、今日的教育課題に対応できる教師像の実現に向け、絶えず研究と修養に努め、学び続ける教師としてのモデルを示していきたいと考えている。

なお、自己の専門性を向上させるために、年間を通して行った研究については、別途「研究報告書」としてとりまとめることとする。

段階	第1段階 基礎期	第2段階 向上期	第3段階 探究期	第4段階 充実期	第5段階 修了期
月	4月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月	2月～3月
研究	・研究テーマ, 方向性を設定し, 第1回報告会で発表	・所属校での授業研究に向けた単元計画, 資料等の作成, 模擬の授業実施	・授業・研修研究計画を立て, 第2回報告会で発表 ・授業研究の実施	・授業研究で収集したデータ分析 ・和歌山教育実践研究大会で発表	・研究報告書, 資料の作成
研修	所属校研修「所属校との連携・研修成果の還元」				
養	<ul style="list-style-type: none"> ■「授業力」「学校組織開発力」「校内研修運営力」向上トレーニング ■専門性の向上を目指す専門研修講座等受講 ■初任者研修, 10年経験者研修等聴講 ■学びの丘指導主事等による研修員研修 				

図 研修の概要